

## 臓器連関の包括的理解に基づく認知症関連疾患の克服に向けて

### プロジェクトマネージャー (PM)

高橋 良輔 (京都大学 大学院医学研究科 教授)

**代表機関:** 京都大学

**研究開発機関:** 大阪大学、九州大学、京都大学、慶應義塾大学、神戸大学、国立循環器病研究センター、慈恵大学、自然科学研究機構、順天堂大学、東京医科歯科大学、東京大学、名古屋市立大学、名古屋大学、新潟大学、広島大学、北海道大学、山梨大学、理化学研究所、量子科学技術研究開発機構

### 研究開発プロジェクト概要

新規イメージング・計測・操作技術の開発などにより、脳と全身臓器ネットワークの機能とその破綻を分子・細胞・個体レベルで解明します。それにより、2050年には、認知症関連疾患の超早期の発症予測法と予防法を開発し、先制医療を享受できる社会の実現を目指します。

### 2030年までのマイルストーン

血液、尿、便などの負担の少ない検体の解析のみで、一見健康な人が10年以内に認知症になるかどうか分かるようになる。

### 2025年までのマイルストーン

血液検査、髄液検査、画像検査等のデータをもとに、認知症を発症の1年以上前に予見できるようになる。



### 研究開発プロジェクト全体構成図

